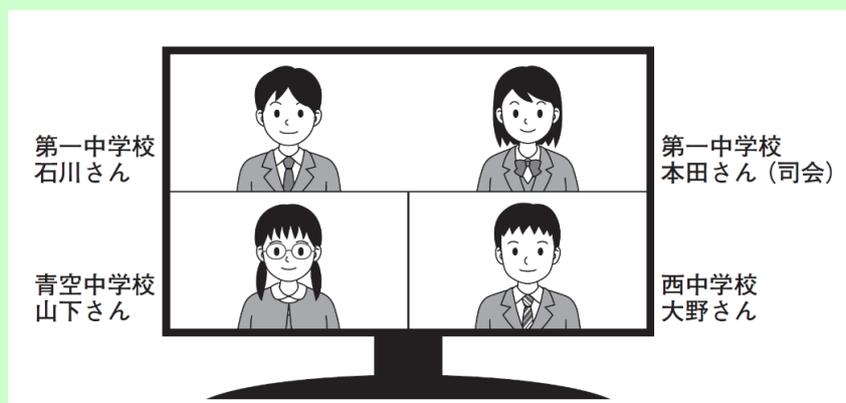


持続可能な豊後高田市の教育をめざして

～全国学力・学習状況調査をもとにして～



中3国語出題の「テレビ会議」の図

本市においては、毎年、全国学力・学習状況調査及び大分県学力定着状況調査の結果を分析したうえで改善策を講じています。

全国学力・学習状況調査は、令和3年5月27日(木)に実施されました。

本全国学力・学習状況調査は、調査の実施後、教育委員会や学校が速やかに児童生徒の学力や学習状況、課題等を把握するとともに、それらを踏まえて調査対象学年及び他の学年の児童生徒への学習指導の改善・充実等に取り組む際に役立てることができるように問題が作成されています。

小学校においては第5学年まで、中学校においては第2学年までに、十分に身に付け、活用できるようにしておくべきと考えられる内容が出題されていますので、調査の対象学年だけではなく、**全学年を通じた学習指導の改善・充実を図るために参考とすることが**できます。

本教育委員会では、出題された内容を小学校・中学校別に分析し、これを授業に活用すべく、A4用紙1枚にまとめました。

なお、出題内容等を詳しく分析したものは、国立教育政策研究所出版の「解説資料」を参照してください。

また、各教科の学習指導要領の内容や領域別等の表の右端に評価欄があります。全国値と比較して、5点以上は◎、0～5点は○、0～-5点は▽、-5点以上は▼で表示をしています。

小学校・国語

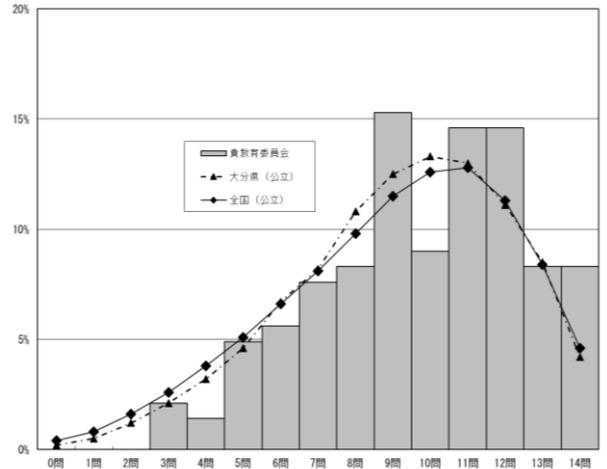
豊後高田市教育委員会

問題は新学習指導要領に示されている内容に基づいて出題されています。
[知識及び技能]では、下の表にあるように、(1)(2)(3)の区分、[思考力、判断力、表現力等]は、ABCの区分に従って出題されています。

思考力、判断力、表現力等の分野の中で、A 話すこと・聞くこと B 書くことについては全国値を大きく超えています、C 読むこと に少し課題が残っています。

教科	国語
豊後高田市	70
大分県	66
全国	64.7

対象児童数		豊後高田市	大分県	全国		
		144	9,081	993,975		
分類	区分	平均正答率(%)			評価	
		豊後高田市	大分県	全国		
全体						
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	76.4	69.7	68.3	◎
		(2) 情報の扱い方に関する事項				
		(3) 我が国の言語文化に関する事項				
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	81.7	77.4	77.8	○
		B 書くこと	68.4	64.8	60.7	◎
		C 読むこと	45.8	46.5	47.2	▽
評価の観点	知識・技能	76.4	69.7	68.3	◎	
	思考・判断・表現	64.9	62.7	62.1	○	
	主体的に学習に取り組む態度					
問題形式	選択式	76.1	72.4	71.7	○	
	短答式	78.2	71.2	70.6	◎	
	記述式	44.7	42.4	40.2	○	

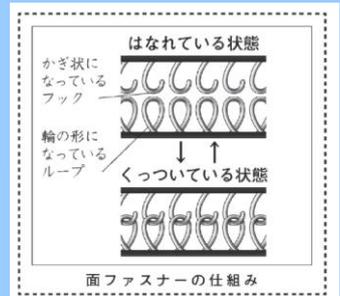


Cの読むことに関しては【大問2】の問題で下記のような課題がありました。

【大問2】は身近にある便利なものについて調べるために、本や文章を選んで読む場面を設定しています。そして、筆者は、面ファスナーについて調べるために、右のような図が含まれた資料を読んでいます。

〈設問3〉は、目的に応じ、文章と図表とを結びつけて必要な情報を見付けることができるかどうかをみる問題です。

具体的には、「メストラル(面ファスナーを作り出した人)は、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出しましたか。指定した条件に合わせて書きましょう」という問いです。
〈正答率 本市34.0% 全国34.4%〉



〈指定された条件〉

- ヒントになったこと、面ファスナーのくっつく仕組みが分かるように書くこと。
- 資料の中の文章と右の「面ファスナーの仕組み」から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 50字以上80字以内にまとめて書くこと。

解答例)メストラルは、ゴボウの実が犬の毛にからみついていたことをヒントに、かぎ状のフックが輪の形をしたループに引っかかることでくっつく仕組みの面ファスナーを作り出した。(80字)

《学習指導に当たって》

目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることが大切です。

○「必要な情報を見付ける」とは、文章の中から、目的に応じて必要な情報を取捨選択したり、整理したり、再構成したりすることです。実生活において児童が触れる文章には、図表やグラフなどを含むものが多い。そのため、学習指導に当たっては、そのような文章を読む際に、文章中に用いられている図表などが、文章のどの部分と結び付くのかを明らかにした上で、文章と図表などの関係を捉えて読むことが大切です。

文章と図表などの情報を合わせて読むことで、内容についてより深く理解したり、解釈したりすることができます。その際、図表からも必要な情報を見付けたり、見付けた情報を言葉に表したりすることが求められます。

本設問では、【資料】の文章の第二段落と、「面ファスナーの仕組み」の図とが結び付いて説明されていることを捉え、断片的な情報が互いに内容を補完し合っている関係にあることを捉えて読むことが大切です。その上で、「かぎ状」という言葉を手掛かりにするなどして「フックがループに引っかかることによってくっつく」という情報を見付けることが求められます。

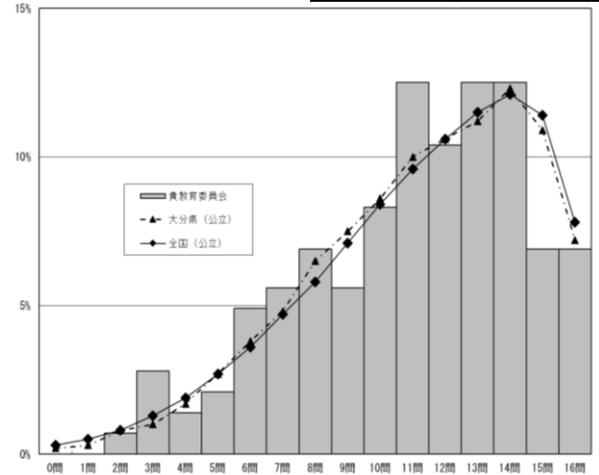
小学校・算数

豊後高田市教育委員会

算数科の学習においては、言葉や数、式、図、表、グラフなどを用いて、筋道を立てて説明したり、論理的に考えたりして、自ら納得したり他者を説得したりすることが大切です。そのことを踏まえて、記述面では、(a)「事実」を記述する問題、(b)「方法」を記述する問題、(c)「理由」を記述する問題の3種類の問題が出題されました。今回は「方法」を記述する問題(図形)で課題が残りました。

教科	算数
豊後高田市	69
大分県	70
全国	70.2

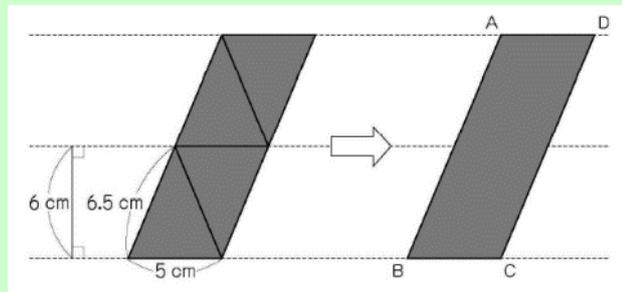
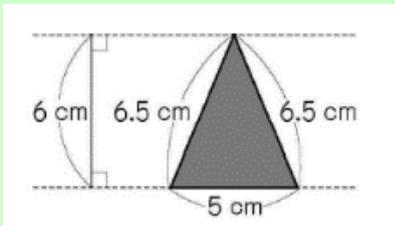
対象児童数		豊後高田市	大分県	全国	
		144	9,084	994,101	
分類	区分	平均正答率(%)			評価
		豊後高田市	大分県	全国	
全体		69	70	70.2	▽
学習指導要領の領域	A 数と計算	63.9	64.1	63.1	○
	B 図形	51.9	56.9	57.9	▼
	C 測定	75.5	74.7	74.8	○
	C 変化と関係	75.7	74.9	75.9	▽
	D データの活用	74.2	75.7	76.0	▽
評価の観点	知識・技能	72.7	73.8	74.1	▽
	思考・判断・表現	63.4	65.1	65.1	▽
	主体的に学習に取り組む態度				
問題形式	選択式	73.7	75.4	76.0	▽
	短答式	75.1	75.6	75.8	▽
	記述式	51.2	53.5	53.0	▽



【大問2】(b)「方法」を記述する問題(対応設問: 1 (1)、2 (3))

算数科の学習では、問題を解決するために見通しをもち、筋道を立てて考え、その考え方や解決方法を説明することが大切です。「方法」を記述する問題では、問題を解決するための自分の考え方や解決方法の記述を求め、他者の考え方や解決方法を解釈して、その記述を求めることが考えられます。ここでは、大問2(3)に課題がありました。

【大問2】の(3) 下のような二等辺三角形があります。



上の二等辺三角形を4つ使い、右上のように、同じ長さの辺どうしを合わせて、平行四辺形ABCDをつくりました。

平行四辺形の面積の公式を使って、平行四辺形ABCDの面積を求めます。辺BCを底辺としたときの面積の求め方を、式や言葉を使って書きましょう。そのとき、平行四辺形ABCDの高さをどのようにして求めたのかが分かるようにしましょう。また、平行四辺形ABCDの面積が何cm²になるのかも書きましょう。 正答率(本市 34.7%、全国 46.0%)

(正答例)【求め方】

辺BCを底辺としたとき、高さは、 $6 \times 2 = 12$ で、12cmです。平行四辺形ABCDの面積は、 $5 \times 12 = 60$ で、60cm²です。【平行四辺形ABCDの面積】60(cm²)

《学習指導に当たって》

図形の構成の仕方を捉えて必要な長さを求め、図形の面積の公式を用いることができるようにすることが大切です。

○図形の面積の学習では、複数の図形を組み合わせた図形について、面積を求めるために必要な辺の長さや高さを、組み合わせる図形の辺の長さや高さから求めるなど、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えることができるようにすることが重要です。その際、面積を求めようとする図形の辺の長さや位置関係、分かっている図形の辺の長さや位置関係を捉え、面積の求め方について筋道を立てて説明できるようにすることが大切です。

指導に当たっては、例えば、方眼上の台形の面積を求める公式を導くために、等積変形をしたり、合同な図形を組み合わせる平行四辺形に変形したりする際に、変形する前の図形と変形した後の図形の間を説明する活動が考えられます。その際、組み合わせてきた平行四辺形の底辺や高さ、元の台形の辺や高さとの対応に着目できるようにすることが大切です。

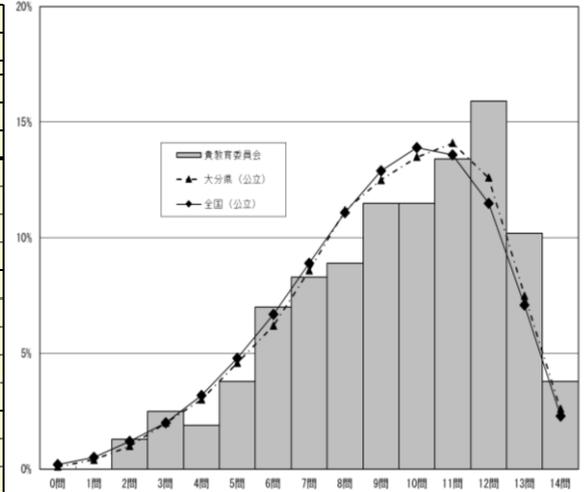
中学校・国語

豊後高田市教育委員会

新学習指導要領の全面実施は、今年度からですが、新学習指導要領を踏まえた場面設定も見られました。また、テレビ会議やSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)など、身近な話題も取り上げられました。さらに、問い合わせ時に活用するメールについてのマナー等についても出題されています。

教科	国語
豊後高田市	68
大分県	66
全国	64.6

対象生徒数		豊後高田市	大分県	全国	
		157	8,788	903,157	
分類	区分	平均正答率(%)			評価
		豊後高田市	大分県	全国	
全体		68	66	64.6	○
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	84.9	82.1	79.8	◎
	書くこと	64.1	58.1	57.1	◎
	読むこと	50.0	49.1	48.5	○
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	75.8	75.5	75.1	○
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	61.9	57.2	56.0	◎
	話す・聞く能力	84.9	82.1	79.8	◎
	書く能力	64.1	58.1	57.1	◎
	読む能力	50.0	49.1	48.5	○
問題形式	言語についての知識・理解・技能	75.8	75.5	75.1	○
	選択式	66.9	65.0	63.9	○
	短答式	75.3	75.0	74.4	○
	記述式	61.9	57.2	56.0	◎

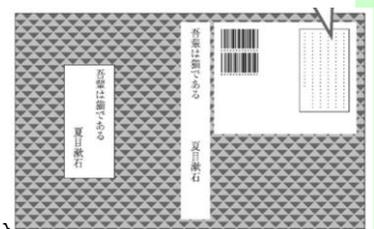


中学校国語は、上記の通り分類・区分ではすべて全国値を超えており、定着状況はよいと思われます。これは、各学校で1時間1時間の授業を大切にするとともに、各学校の伝統と特色を活かし、「主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善P D C Aサイクルの日常化」の市統一テーマのもと、授業改善に取り組んだ成果だと考えております。

【大問3】は「文学的な文章を読む」(「吾輩は猫である」)に関する出題です。

本問では、夏目漱石の「吾輩は猫である」の一部と本のカバーに書かれている紹介を取り上げています。文脈の中における語句の意味を理解したり、場面の展開や登場人物の描写に注意して読んで内容を理解したりするとともに、本のカバーに書かれている紹介を参考にしながら、文章に表れているものの見方や考え方を捉えて自分の考えをもつことを求めています。

設問四は、「吾輩」は「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしていきますか。また、あなたは、そのような「吾輩」の接し方をどう思いますか。次の条件1と条件2にしたがって書きましょうという問題です。



条件1 【文章の一部】から、「吾輩」が「黒」を評価している表現を引用した上で、どのような接し方をしているのかが分かるのかを書くこと。

条件2 条件1のような「吾輩」の接し方について、あなたの考えを具体的に書いてください。

(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。

- ① 【文章の一部】から、「吾輩」が「黒」を評価している表現を引用して書いている。
- ② ①で引用した表現から、「吾輩」が「黒」にどのような接し方をしているのかが分かるのかを書いている。
- ③ ②のような「吾輩」の接し方について、自分の考えを具体的に書いている。 正答率(本市 22.9%、全国 20.5%)

- ・「はなはだ御しやすい猫である」と評価しており、「吾輩」は「黒」の機嫌をとるような接し方をしていくことが分かる。私は、このような「吾輩」の接し方はとても賢いと思う。
- ・「腕力と勇氣とにいたってはとうてい黒の比較にはならない」と書かれていて、黒に敬意をもって接していることが分かります。相手の悪い面だけでなく、よい面にも目を向けることは大切なことだと思います。
- ・「元来黒は自慢をするだけにどこか足りないところがあって」と相手を見下すような接し方をしていて、あまりよい気持ちがない。

《学習指導に当たって》

文脈の中における語句の意味を理解しながら文学的な文章を読むことが大切です。

文学的な文章を読むためには、言葉を手掛かりにしながら文脈をたどり、観点を定めて読むことが必要であり、そのことによって深い理解や感動が得られます。また、登場人物の相互関係や心情の変化、行動や情景の描写などに注意しながら読み進めるように指導することが大切です。ここでは、正答の条件に示されているように、評価している表現、接し方、自分の考えを具体的に書くこと、特に、自分の考えを具体的に書くことは、賢い、大切なこと、あまり気持ちよくないという自分の思いを表現することが大切です。

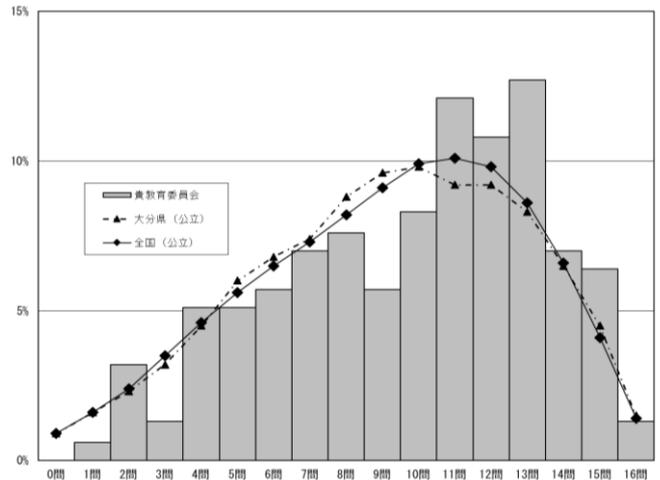
中学校・数学

豊後高田市教育委員会

中学校数学の調査問題は、中学校数学科の指導のねらいからみて、今後の学習において活用される基礎的・基本的な知識及び技能や、その知識及び技能が、生徒が問題解決していく過程でどのように用いられているかについて出題することとされています。

教科	数 学
豊後高田市	61
大分県	57
全国	57.2

対象生徒数		豊後高田市	大分県	全国	
		157	8,792	903,253	
分類	区分	平均正答率(%)			
		豊後高田市	大分県	全国	評価
全体		61	57	57.2	○
学習指導要領の領域	数と式	68.4	65.3	64.9	○
	図形	54.8	48.4	51.4	○
	関数	57.5	56.4	56.4	○
	資料の活用	61.1	55.9	53.8	◎
評価の観点	数学への関心・意欲・態度				
	数学的な見方や考え方	43.4	39.5	41.1	○
	数学的な技能	83.4	80.9	77.7	◎
	数量や図形などについての知識・理解	70.7	65.6	65.6	◎
問題形式	選択式	59.6	53.2	52.4	◎
	短答式	74.2	71.1	70.5	○
	記述式	38.2	33.3	35.0	○



【大問6】では、筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することや発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することが求められています。

(3) 左の図で、四角で4つの数を囲んだとき、左上の数を n とすると、4つの数の合計は $n+(n+1)+(n+6)+(n+7)$ となります。これは、 $4n+14=2(2n+7)$ とまとめることができます。

このことから、四角で4つの数を囲むとき、4つの数の輪は、左上、右上、左下、右下の数のうち、ある2つの数の和の2倍であることがわかります。

問) 四角で囲んだ4つの数の和は、どの位置にある2つの数の和の2倍ですか。「～は…である」という形で書きなさい。

正答率(本市 35.0%、全国 30.3%)

正答の条件は、「○○は、◇◇である」という形で、次の(a),(b)を記述しているもの。
 (a) ○○が、「四角で囲んだ4つの数の和」である
 (b) ◇◇が、「左上の数と右下の数の和の2倍」である

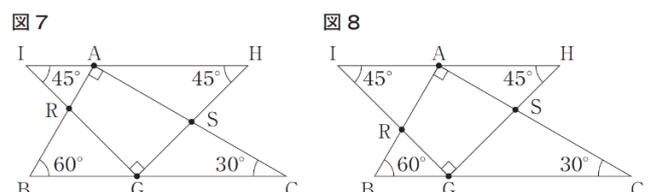
1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30

考え方) 四角で囲んだ4つの数の和は、 $n+(n+1)+(n+6)+(n+7)$ となります。これは、 $4n+14=2(2n+7)$ です。

正答例) 四角で囲んだ4つの数の和は、左上の数(n)と右下の数($n+7$)の和の2倍になります。

【大問9】では、図形の性質を考察する場面において、○事象に即して解釈したことを数学的に表現すること。○筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することが問われています。

問(3)は、右図は直角三角形と二等辺三角形の定規を重ねてできた図です。 $\triangle GHI$ を動かしても、四角形 $ARGS$ の $\angle ARG$ と $\angle ASG$ の和はいつでも 180° になります。このほかに、 $\angle ARG$ 、 $\angle ASG$ の大きさについて、いつでもいえることを書きなさい。本市 33.1%、全国 28.8%



正答例) 1) $\angle ARG$ 、 $\angle ASG$ のそれぞれの大きさは変わらない。 2) いつでも $\angle ARG=105^\circ$ 、 $\angle ASG=75^\circ$ です。

《大問9の学習指導に当たって》

○観察や操作、実験などの活動を通して、図形の性質を見いだすことや、発展的に考察することができるようにすること。図形の性質を考察する場面では、観察や操作、実験などの活動を通して、予想した事柄が成り立つ理由を筋道を立てて考えることができるようにするとともに、条件を変えるなどして発展的に考察することができるようにすることが大切です。

学習状況調査について

豊後高田市教育委員会

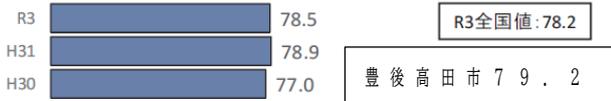
学習状況調査では、児童生徒質問紙調査と学校質問紙調査があります。その調査の中で児童生徒と学校との共通の項目があり、さらに、クロス集計により学力との関連が分かる調査があります。この調査は、大分県が進めている授業改善方策の「新大分スタンダード」に関するものであります。この結果からも明白のように、肯定的な回答が全国値を超えた教科は定着率も高い傾向があります。

児童生徒質問紙調査の結果②

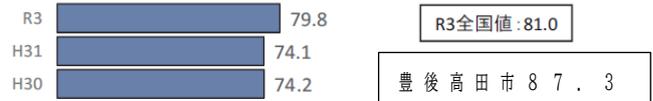
新大分スタンダード

◆(小中)「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童生徒は、小学校はH31年度と同程度、中学校は5.7ポイント増加している。

■⑥5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか(小)



■⑥1,2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか(中)

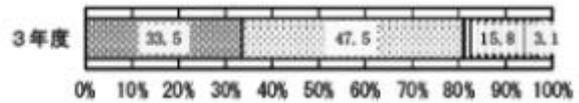
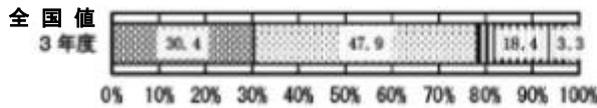


◎「5年生までに受けた授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」の問いは、児童・生徒と学校との共通です。そこで、国語と算数(数学)の正答率とのクロス集計結果を掲載します。

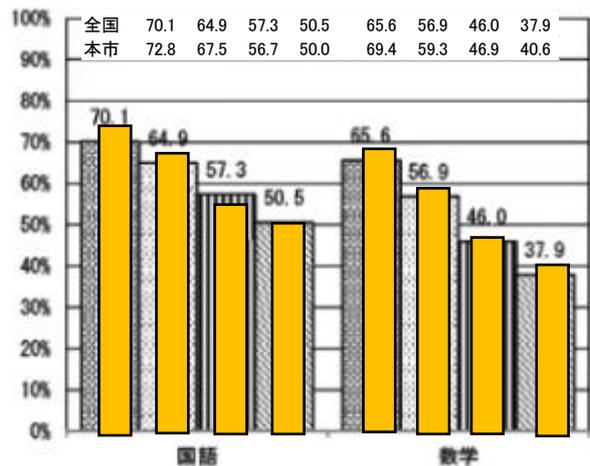
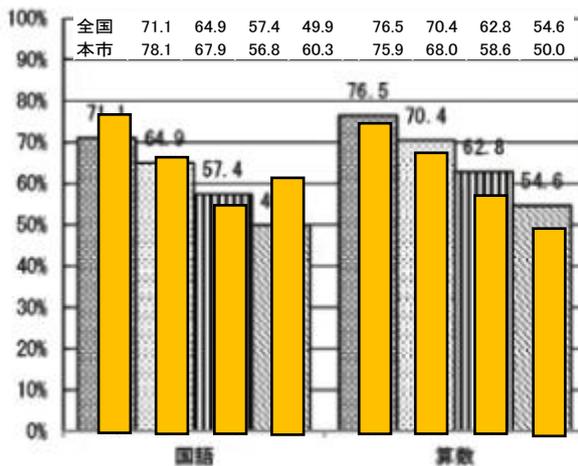
	質問番号	質問事項
小	33	5年生まで〔1,2年生のとき〕に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか
中	33	

【小学校】

【中学校】



上の白黒モードの帯グラフや、下の棒グラフは、全国的なデータです。そのデータの上に豊後高田市のデータを黄土色でかぶせております。当てはまる、どちらかといえば・・・と回答した児童・生徒の方が正答率が高いことが分かります。



当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない
 その他
 どちらかといえば、当てはまる
 学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を行っていない
 無回答

この「新大分スタンダード」のアンケート結果によると、豊後高田市においては、小学校国語、中学校国語と数学では「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ」と回答した児童生徒が全国値を超えています。それと連動(リンク)するかのように、全国値を超えている小学校国語、中学校国語、数学は定着率が高い傾向にあります。

「新大分スタンダード」による授業の効果が明白です。今後とも、大分県の進める「新大分スタンダード」「中学校3つの提言」、そして、本市の統一テーマに基づいた校内研究、そして豊後高田市プロジェクト事業等により児童生徒の「夢を描き、実現できる子どもの育成」を図っていきたいと考えています。

2. 豊後高田市の学力向上に関する改善策

豊後高田市学力向上プロジェクト事業の実施

夢を描き、実現できる子どもの育成
 ～子どもたちが自分の好きなことをより好きに～

1. 各種学習状況調査の分析

〈大分県学力定着状況調査〉

【小学校】

国語
算数
理科

小学校	知識	活用
国語	◎	◎
算数	○	◎
理科	○	▽

目標値と比較して
◎ 良好 ○ 概ね良好 ▽ 課題あり

【中学校】

国語
社会
数学
理科
英語

中学校	知識	活用
国語	◎	◎
社会	◎	○
数学	○	▽
理科	◎	◎
英語	▽	▽

目標値と比較して
◎ 良好 ○ 概ね良好 ▽ 課題あり

詳しくは大分県学力調査報告書を参照

〈全国学力・学習状況調査〉

【小学校】

国語・算数

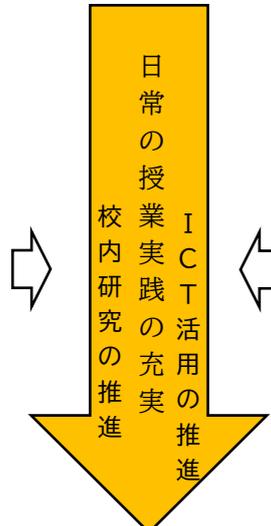
小学校	本市	大分県	全国
国語	70	66	64.7
算数	69	70	70.2

【中学校】

国語・数学

中学校	本市	大分県	全国
国語	68	66	64.6
数学	61	57	57.2

詳しくは全国学力・学習状況調査報告書を参照



2. 指導方法の工夫・改善

(1) 新大分スタンダード

- 1時間完結型授業
「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」
- 板書の構造化
- 習熟の程度に応じた指導
「具体的な評価基準」に基

(2) 中学校3つの提言

1. 新大分スタンダードの徹底
2. 教科指導力の向上
3. 「生徒と共に作る授業」の推進

(3) 校内研究会の充実

1. 統一テーマの設定による校内での研究の推進
2. 豊後高田方式の「指導案」の活用

(4) 指導方法の工夫・改善

1. 調査から明らかになった課題への対応
2. 指導方法の工夫・改善について
 - ① タブレット、ICTの活用
 - ② 指導と評価の一体化
 - ③ 授業アイデア例の活用
 - ④ 資料等の活用
 - 新しい授業づくりハンドブック
 - 「言語能力」育成ハンドブック

3. プロジェクト事業構成員による授業実践・工夫改善

(1) 授業力向上アドバイザー

- 授業づくり10の視点
- 算数科授業評価シートの活用
- 協調学習の指導

(2) 初任研拠点校指導教員

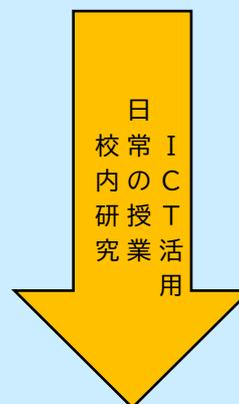
- 初任者研修に係る授業参観の視点
- 学級経営自己チェックリスト
- 授業自己チェックリスト
- 教材・教具の工夫
- 授業チェックシート

(3) 中学校英語推進教員

- 英語部会での取り組み
- Can-Doリストの作成
- GTECを活用した問題分析
- 基礎基本の充実

(4) 小学校理科推進教員

- 教材研究・教材準備の負担軽減
- 基礎基本の充実
(例：キーワード集の作成)



4. 豊後高田市学力定着状況調査の実施

主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善PDCAサイクル